

Message memo

- ◇タイトル 『コロナを乗り越える～忍耐を働かせる～』
- ◇聖書箇所 ローマ5章1節～5節
- ◇メッセージ 西村希望師
- ◇中心聖句 ローマ5章3節
そればかりではなく、患難さえも喜んでいきます。それは、患難が忍耐を生み出し、

攻 WE WILL GO

そのとき、カレブがモーゼの前で、民を静めて言った。「私たちはぜひとも、上って行って、そこを占領しよう。必ずそれができるから。」（民数記 13:30）

Vol.36-17
2020.4.26

Jesus Family 先週の活動

◆HICS オンライン授業

2020年度のハレルヤインターナショナルクリスチャンスクール（HICS）の授業はオンラインで行われています。朝のワーシップから恵みを受けて一日がスタートします！



ワーシップでオンラインバイブルメッセージ



英語の発音もしっかりチェックしてもらえます



体育の時間は楽しくダンスレッスン！



一日の課題がしっかり終わるようにチェックとサポート

<Vision> 聖書を土台に若者を育て、世界にリーダーを送り出す教会

ビジョンセンター 東京都町田市三輪町 392 TEL:044-385-2964 URL:www.jesusfamily.jp E-mail: info@jesusfamily.jp

みどり野キリスト教会 すずき野チャペル 横浜市青葉区すずき野 2-6-16 TEL 045-902-7898

今こそ信仰・希望・愛に生きる時！ ～感謝の証し～

●K.Hさんの証し

礼拝のメッセージから『毎日一人励ます』とチャレンジを受けて、東柿生に住んでいるキッズにお手紙を出しました。そうしたら、その週にそのお友だちはお母さんと一緒に自転車でビジョンセンターにお返事の手紙を届けに来てくれました。

また、五年前に引っ越して以前ぶっとびキッズに来てくれていた親子に手紙を出したら、お礼のメールが来て、それだけでなく LINE の連絡先も聞くことができ、更に繋がりが与えられました。やり取りの中で、『五年前に教会がしてくれていたことで励まされていた。』という言葉も頂きました。



●T.Hさんの証し

私は礼拝の御言葉からチャレンジを受けて、誰かを励ますために『毎日マスクと励ましの手紙をと届けようキャンペーン』を個人的に実施しました。主にキッズの家に届けたので反応は特に返ってきていませんが、毎日実行できて感謝です！来週はお友だちの家族全体にも教会が良き証しとなり、イエス様の愛が届くように、今度は親御さん用のマスクを買って届けようと思います。

また、『オンライン礼拝紹介』も2週間前にチャレンジをいただき、何人かの方に紹介させて頂きました。その内の一人に3年くらい教会に来ていない高校三年生の女の子がいて、オンライン礼拝をLINEで紹介した時には何の返答もありませんでしたが、2週間経って突然『コロナでこれからの生活、受験が心配です。』とお祈りの要請が来ました。今、彼女のニーズを聞き、更に励ましているところです。どこで芽を出すかわからないからこそ、常に福音の種まきをすることの大切さを実感しています。

溢れるばかりの祝福をあなたに ～什一献金の恵み～

【什一献金ってなあに？ Part3】

Answer：10分の1献金は神への信頼の表明です

10分の1を捧げることは、経済的には大変かもしれませんが、しかし、だからこそ神をどれだけ信頼しているかのバロメーターになります。神は、神の国と義とを第一に求めるものには、衣食住の必要を全て満たす、と約束なさっているからです。多くのクリスチャンは、10分の1献金を始めることによって、心が豊かになったと語ります。

ある人にはつまずきに石ですが、ある人には飛躍に石です。

“十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためてみよ。——万軍の主は仰せられる。——わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためてみよ。”(マラキ3章10節)

祝福タイムズ

ポジティブな忍耐を持って今の現状を乗り越える

伝道師 田中未沙子

ハレルヤ、主のみなを賛美します。コロナウィルスの感染拡大と外出自粛の中で、日々働いておられる医療従事者の方々、ドラックストアの方々、生活に必要なものを売ってくださっている方々はもちろん、家庭のためにと一生懸命働いている方々、なおも教会のためにと働かれておられる牧師伝道師、スタッフの方々に心から感謝申し上げます。

私は、自粛生活で気持ちが塞いでしまい、体調もあまり万全ではない毎日の中で、「そもそも、なんでこんなことになってしまったのか」「なぜ、外出を自粛しない人がいるんだ、私はこんなに我慢しているのに」と国や人を悪く思うようなネガティブな思いが自分の中にありました。意味もないのに、誰のせいでこうなったとネットの情報を漁っていました。ネガティブになってはいけない、神様が語られていることに耳を傾けなければいけないとわかっているのに出来ず、本当に良い心ではありませんでした。形では祈っていたものの常に納得のいかない状態でした。

先週の日曜日オンライン礼拝で、希望師がポジティブな忍耐を持とうと励ましのメッセージをされていました。ようやく、ネガティブは自分を神様から離してしまうコロナウィルスよりもっと怖いものだ気づき悔い改め祈りました。

“あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。”

(1コリント人への手紙10章13節)

神様は必ず脱出の道を備えていてくださる、いつかはわからないけれど、本当にそこで神様だけに望みを置くこと、私自身がポジティブな思いを持ち、ポジティブな忍耐を持って周りの疲れている人に励ましをしていきたいと思えます。今週小池さんに応援と励ましのお手紙を送ります！(*^▽^*)